

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年7月13日

明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) シンポジウム 太平洋核実験 70 年—1946 年「クロスローズ作戦」再考

7月24日(日)開催 ※事前申込み不要

明治学院大学国際平和研究所(PRIME)はシンポジウム「太平洋核実験 70 年—1946 年『クロスローズ作戦』再考」を7月24日(日)に白金キャンパスで開催します。

2016年7月は、中部太平洋に浮かぶマーシャル諸島ビキニ環礁で、米国の原爆実験「クロスローズ作戦」が実施されてから70年にあたります。また同核実験に先立ち、核実験場とされたビキニ環礁の人びとが、故郷を追われて70年にもなります。太平洋は米国のみならず、英仏の核実験が繰り返された地です。核被害は、日本だけではなく地球規模の広がりをもっています。

本シンポジウムでは、広島・長崎原爆投下の「あの日」を目前に控え、太平洋を舞台にした1946年「クロスローズ作戦」に新たな光をあてます。「核権力」が主導する「核安保」「核不拡散」「核軍縮」ではなく、グローバルヒバクシャの側から核問題を捉え直し、太平洋諸島への新たな視野を拓く「クロスローズ(十字路)」の場にしていきたいと考えています。

ぜひイベントの取材および告知をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

シンポジウム「太平洋核実験 70 年—1946 年『クロスローズ作戦』再考」

■日時: 2016年7月24日(日) 12:45~17:00 (開場 12:30) ■定員: 70名

■場所: 明治学院大学白金キャンパス 本館10階 大会議場 (〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37)

■プログラム: <基調講演> 「マーシャル諸島 終わりなき核被害を生きる—『クロスローズ作戦』70年に寄せて」
竹峰誠一郎(明星大学)

<第1部> 日本の南洋群島統治と核実験への道

前田哲男(ジャーナリスト)、高橋博子(明治学院大学)、石原俊(明治学院大学)

<第2部> 「核と太平洋」をめぐる過去と現在

豊崎博光(ジャーナリスト)、市田真理(第五福竜丸展示館学芸員)、中原聖乃(中京大学)

■司会: 平井朗(立教大学)、柿原泰(東京海洋大学)

■参加費: 無料 ■事前申込み: 不要

■共催: 明治学院大学国際平和研究所、グローバルヒバクシャ研究会、環境・平和研究会、日本平和学会 3.11
プロジェクト委員会、科研基盤研究(B)放射線影響研究と防護基準策定に関する科学史的研究

■お問合せ先: 明治学院大学国際平和研究所(PRIME) TEL: 03-5421-5652 <http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime/>

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>